

みんなの ひろば



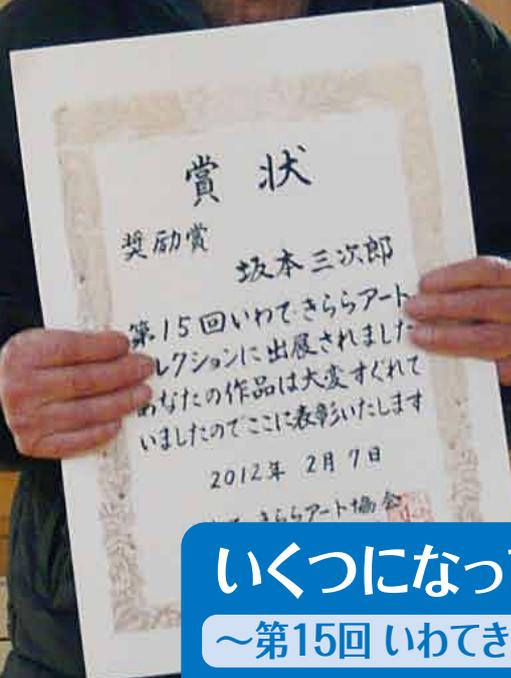
※上のイラストは、題字と同じ内容を指文字と手話で表したものです。

主な内容

- 理事長就任のあいさつ、経営理念、経営基本方針 2
- シリーズ 新規事業紹介① 3
～東日本大震災子ども支援センター
- [特別対談] 4,5
- 平成23年度決算報告 6,7
- 新規採用職員のご紹介 8

112号

平成24年7月1日
発行



いくつになってもアーティスト♪

～第15回 いわてきららアートコレクション入賞～

松山荘（宮古市）を代表するアーティスト、坂本三次郎さんと入賞作品「無題」です。三次郎さんは91歳で、松山荘において最高年齢です。三次郎さんのこれからの作品に大いに期待です!!

新理事長就任のいあじわい

「常にお客様の立場にたつて」



理事長
藤原 健一

【前職】岩手県社会福祉事業団 副理事長兼事務局長

4月に、当事業団の理事長に就任いたしました。

当事業団は、昨年、創立40周年を迎えました。設立以来、常に時代の福祉課題に率先して取り組み、本県の新しい福祉を拓いて来た、志とスキルの高い集団であり、共に仕事をさせて頂くことを、光栄に思っております。

当事業団は昨年度、「中長期経営基本計画（23―32年度）」を策定いたしました。この計画は、「自立経営の確立」と共に、より力強く私達の理想を実現し世に役に立つ存在として発展・繁栄を続けていくためのものであり、理事長として、この計画の着実な推進を図っていききたいと考えています。

当事業団には、多様な福祉分野の施設経営を通じ、お客様のライフステージに応じた幅広いサービスと人材が揃っています。

す。この豊富なサービスのノウハウと人材こそが、当事業団の大きな強みです。

この強みを生かしながら、①常に、お客様の立場に立つて考え、感動を与える質の高いサービスの提供、②イノベーションを恐れず、社会環境の変化に即応する事業への挑戦、③幅広い関係者との協働による地域福祉の推進、に努めると共に、④計画的な人材の育成と「学習する組織」の確立、⑤信頼される組織運営と経営基盤の強化に向けた改革を進め、どのような時代が来ようとも、社会に必要とされ発展する事業団でありたいと願っています。

限らない「成果と成長」を求めて、成果とともに、職員一人ひとりの「成長」を大切に、質の高いサービスを担う「優しい心、高い専門性、強い責任感と自省心を持ち、向上発展する人材」の育成にも力を入れていきたいと考えています。

事業団は、福祉サービスの提供を通じて、人と社会を幸福にする「幸福の生産者」です。

共に力を合わせ、事業団の事業を通じ、障がいのある人もない人も、互いに、人格と尊厳を認め合い、支え合い、その人らしく自立して共に生きる豊かな社会の実現に貢献していききたいと思います。皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げます。

岩手県社会福祉事業団 経営理念・経営基本方針

「経営理念」

岩手県社会福祉事業団は、ご利用のお客様の人間の尊厳の保持を旨として、お客様の立場に立った質の高いサービスを提供するとともに、地域福祉を推進し、全ての人が相互に人格と個性を尊重し、支え合いながら、その人らしく共に生きる豊かな社会の実現に貢献します。

「経営基本方針」(行動指針)

私たちは、

- 1 常に、お客様の立場に立つて考え、人権の擁護とお客様本位の質の高いサービスの提供に努めるとともに、創意工夫し、社会環境の変化や地域ニーズに即応する新たな事業の展開に挑戦します。
- 2 幅広い関係者との連携・協働により、地域福祉を推進します。
幅広い関係者と連携・協働し、福祉サービスを必要とする人が、地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるよう、地域福祉の推進に努めます。
- 3 計画的に人材を育成し、学習する組織を目指します。
 - ・計画的な人材の育成に努め、法人経営と質の高いサービスの提供を担う「優しい心、高い専門性、強い責任感と自省心を持ち、向上発展する人材」の育成に努めます。
 - ・常に学習する態勢をとり、情報と衆知を集め、良い仕事をする「学習する組織」を目指します。
- 4 信頼される組織運営と経営基盤の安定・強化に向けた改革・改善を進めます。

シリーズ 新規事業紹介①

今年度からスタートした事業所等を3回にわたって紹介します。

東日本大震災子ども支援センター岩手県事務所（盛岡市）



はじめに

4月某日、所員3人で陸前高田を訪れました。個人的には1年ぶりでした。あの日から時間が止まっていたように見えました。基礎部分だけ残された保育所のちっちゃなトイレを見つけ、言葉になりませんでした。

です。現地窓口として福島、宮城にも県事務所が設置されています。

ニーズの把握のため、保育や教育現場などを訪問すると、「子どもの遊び場がない」「夜眠れない児童がいる」等お聞きします。「支援する者が疲れています」と打ち明けられることもあり「でも前向きになればと願います。」

ニーズに応える支援として「わんぱくキッズ招待」を企画しました。県と一緒に事務局をしている「子どものこころのケア

遊び場まで招待しま

す。招待場所の一つとして、「いわて子ども森」にも協力をいただいています。「去年できなかった親子行事ができます」「職員も前向きになります」との声が多く、49団体から申し込みがありました。

この他、支援者等の研修事業の調整や専門家派遣の調整、支援関係団体との情報交換なども行っています。

この他、支援者等の研修事業の調整や専門家派遣の調整、支援関係団体との情報交換なども行っています。

岩手県事務所（内丸）について

被災地の子どものこころのケアと健やかな成長を支援するために、県（児童家庭課）と東日本大震災中央子ども支援センターの要請を受けて、子どもや子育て家庭のニーズに応じた支援の調整や支援を行う者のサポートが業務となります。中央子ども支援センターとは、被災地では専門家不足などで、中・長期的な支援体制を構築するまでには至っていないとの認識のもとに、厚生労働省の委託を受け、日本子ども家庭総合研究所（恩賜財団母子愛育会）が設置したもの

ろのケア推進プロジェクト」の事業の一つで、被災地の保育園や学童クラブなどを貸切バスで



「遊びで心のケアを」陸前高田市でのジョイプロジェクトの様子。

おわりに

通学路のトンネルは津波で照明が壊れたまま。日中なのに大人でも怖いと思いました。二度目の訪問時、灯りがついていました。希望の灯りに祈りました。

「Build Back Better」
(被災前よりもよい環境に)

（東日本大震災子ども支援センター岩手県事務所 所長 白畑 勇）

役員・評議員のご紹介

理事及び監事

理事	藤原 健一
常務理事兼事務局長	小林 繁春
理事	石田 豊
	小田島 智弥
監事	菊池 敏夫
	喜多 正敏
	千田 光久
	中野 信男
	細田 重憲
	米田 八ツ工
	青山 良一郎
	千葉 清夫

評議員

浅沼 康揮	児玉 義輝
岩館 仁	後藤 賢弘
内館 桂	今野 紀子
大久保 文直	佐藤 匡仁
大森 紀代美	柴田 一美
岡村 鋭次	高橋 修
小川 博敬	中上 康治
刈谷 正彦	沼田 由子
朽木 正彦	藤原 誠一
久保田 博	吉田 博
熊谷 久	田原 博

※アイウエオ順

顧問 問 問 千葉 弘

中長期経営基本計画の 着実な推進が使命（小林）

那須 本日は小林常務と菅原参事との対談ということですので、まずは就任の抱負などをお聞かせください。

菅原 本務は中山の園の所長であり、施設の改築に向けたレールを敷き、機関車を動かすつもりで頑張りたいと思っています。事務局参事も拝命していますので、その立場では、非正規職員のあり方などについて考えていきたいと思っています。また、利用者からの預かり金について、現在、ごく少額の管理料で、業務の間を縫って金銭等の管理を行っています。それが良いのかどうか、中山の園での議論をおし、法人全体に投げかけていければと思っています。

小林 4月から常務理事として勤務しています。昨年度に作成された中長期経営基本計画の着実な推進が私の使命だと思っています。事業団は県立施設の運営委託を行っていた時代を経て、自立経営を進めることとなったわけですが、皆で知恵を出し合い、民間の活力を持ち、いろいろなものを取り入れた事業団を目指していきたいと思っています。

那須 菅原参事は県職員として福祉行政の立場から事業団を見ていた頃と比べて、事業団の捉えや見え方の違いといったものはありますか。

菅原 事業団は平成17年以降、県立施設

設の指定管理を受けるか、民間として経営していくかの選択を迫られたわけですが、自立経営を決断したのは良いことだと思っています。指定管理を受けた他県の例をみると、苦勞しているように思いますし。

10年後に経営視点を持った人材がリードできるか（小林）

那須 事業団は平成28年からの自主自立経営を目指し、進んでいる



常務理事 兼 事務局局長
小林 繁 春

ところですが、ハードとソフト両面に課題を抱えていると思います。特にソフト面の、人材育成についてはいかがでしょうか。

小林 事業団職員の年齢構成は、他とは違ういびつな状態となっています。これを、どのように改善していくか、10年後に経営視点を持った人材たちがリードしていけるかが大切だと思います。

那須 中山の園の人材確保・育成についてはいかがでしょうか。

特別対談

～自主・自立経営の実現に向け、
事業団が取り組むべき課題について～

～平成24年5月29日(火)開催～

菅原 職員の不足分は非正規職員で補うこととしていますが、県北地区は特に人手が不足しており、なかなか応募がないのが現状です。事業団は正規職員数を減らし、その分を非正規職員で補い、1対1の割合を目指していくことにして



事務局参事 兼 中山の園管理センター所長
菅原 博



参事 兼 みたけの園 みたけ学園長
那須 秀 逸

いでしょ。か。

那須 これまで、努力のこいもあり、将来を見据えた人件費の積立を行ってきたわけですが、必要に応じその活用も考えられると思います。

小林 事業団は借金がないことがメリットですね。非正規職員については、他の業種等と比べると、比較的給料が高いという話を聞きます。

那須 年収とすれば、他の法人等の正規職員と比較しても決して低い額ではありませんが、仕事に慣れ業務量が増えても頭打ちとなり、給料が上がるといいう仕組みにはなっておりません。

菅原 非正規職員を正規職員へ登用するシステムを作らないと、人材はどんどん逃げていくと思います。

那須 採用試験の結果、非正規職員が正規職員として採用されるケースも多くなっています。

菅原 事業団は県に準じてきたこともあり、採用形態もまた同様ですが、採用区分を様々設けるなどして、法人のカラーを出していけばよいのではないのでしょうか。

小林 人材育成については、法人をあげて、いろいろ考えていかなければならない課題があると思います。

改築の実現には 「付加価値」と「戦略」を（菅原）

那須 ハード面についてはいかがでしょうか。どのような方策をもっていけば、施設の改築につながるのでしょうか。

菅原 やさわの園までは、老朽化＝改築、ということでも良かったと思いますが、みたけの園・みたけ学園や中山の園は、災害復旧で県の予算も厳しい状況にあり、単純に改築とはならないと思います。たとえば、みたけの場合には、強度行動障がい等で支援度の高い利用者を抱えているとか、県下全域を支える児童施設としての役割、地域の防災拠点など、様々な付加価値があればよいのではないのでしょうか。中山の園については、すでに高齢者支援や精神障がい者支援への特化なども検討・実行されています。もともと戦略的に県下にはないパイロット事業として進められればよいのではないのでしょうか。

小林 県にいた立場から考えると、まず「必要かどうか」ですから、必要性を示しながら、選択肢をいろいろ考え、ダイナミックに提案していつてよいのではないのでしょうか。

那須 その辺りのことを、経営改善検討委員会でも継続協議していきたいと思っています。ただし、委員会だけではなく、各施設でもどのような展望を持つべきか、考えてもらわなければなりません。

菅原 現在各施設で20年後の在り方を考えているところですが、地域でどんな課題があるか、それぞれ考えることが大事ですね。

那須 平成21年2月に、県に対し事業団としての考えを提出しましたが、制度も変わったことから、もう一度、必要性を含めて吟味していかなければなりません。

小林 昨年度、今後10年のあり方を示した中長期経営基本計画が作成されました。読めば読むほど深いものであると思います。皆で目指すべき目標を確認していかなければなりません。

菅原 これからは、民間の色合いを強め、自分たちでやるべき事を示していく必要があります。



特別対談の様子

「情報」の「周知徹底」と 「共有」を大切にして（那須）

菅原 福祉の人材確保が難しいといいますが、給料が安いからでしょうか。

那須 同じ介護の仕事でも、デイサービスは希望するが、入所施設は希望しない等、土日や夜の勤務を敬遠する人が多いのが現状です。また、大学生などは、相談支援業務を好み、直接支援にあたる現場を希望しない傾向にあるようです。

菅原 直接処遇現場での経験がない中の相談支援は難しいと思います。

小林 現場に通ってこそ、福祉の世界が理解できるのではないのでしょうか。

那須 みたけの園・みたけ学園は県央にあり、人材が確保できると思われがちですが、そうでもありません。社会福祉学部の学生や実習生に、現場の魅力を伝えていく必要性を感じています。

小林 人材確保に際し、優秀な人材に積極的に声をかけ、場合によってはヘッドハンティングする等ということも必要ではないのでしょうか。

那須 また、現場の課題として、情報が全職員に周知されず、徹底されていないことがあります。

菅原 現場に情報がしつかり降りないのは、同じベクトルに向かっているのか、情報を広げる人が不足しているのか、検証する必要があるのではないのでしょうか。

那須 職員数が多い中で支援すること

に慣れてきたため、少ない職員数でも同じサービスを提供しようとして、各自の業務を消化するのに目一杯で、全体を見るゆとりが無くなっているように思う時もあります。

菅原 サービス提供のために必要な人材が足りないなら、確保をしつかりしなければなりません。

那須 現場が忙しいと、会議や打ち合わせを省略する傾向にあります。情報を流したからよし、ということでもありません。

菅原 いろいろな考えを生み出せるように、会議をやるのだということも理解しなければなりませんし、業務の洗い出しも必要です。事業団の職員は、他の法人職員より資質が高いと感じていますので、情報を得てうまくやれば、良いものになるでしょう。詰まっていれば掃除し、足りないなら補うようにといった、環境整備も必要です。

小林 中長期経営基本計画に基づき、皆で同じ方向にベクトルを向けて、頑張っていきたいと思います。

那須 職員自身にも、聞いていない、見えていないではなく、情報を得る努力が必要と思う時もあります。情報の共有を大切にしていきたいと思います。

菅原 主役は事業団職員ですから、脇役として、提案や材料の提供を積極的に行っていきたいと思っています。

貸借対照表

法人名 岩手県社会福祉事業団

事業グループ [全体合計 (療育センター含む)]

平成24年3月31日現在

第5号様式
(単位:円)

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,238,474,696	1,559,123,426	-320,648,730	流動負債	289,844,862	408,965,477	-119,120,615
現金	638,487	713,970	-75,483	買掛金	5,038,689	3,801,773	1,236,916
当座預金	421,393,006	517,037,377	-95,644,371	未払金	269,532,766	391,440,480	-121,907,714
小口現金	592,486	751,561	-159,075	預り金	15,273,407	13,723,224	1,550,183
定期預金	0	300,000,000	-300,000,000	その他の流動負債	0	0	0
普通預金	140,178,811	96,277,340	43,901,471	固定負債	861,654,664	896,031,883	-34,377,219
商品・製品	46,600	256,140	-209,540	退職給与引当金	430,226,853	444,145,674	-13,918,821
原材料	1,954,490	2,066,417	-111,927	事業団退職給与引当金	290,220,153	322,433,774	-32,213,621
医薬品等	1,185,215	1,202,319	-17,104	県社協退職給与引当金	140,006,700	121,711,900	18,294,800
未収金	594,130,589	557,321,373	36,809,216	全事協退職年金共済引当金	389,694,811	410,153,209	-20,458,398
医薬未収金	74,386,619	79,819,554	-5,432,935	長期預り金	41,733,000	41,733,000	0
立替金	149,512	15,855	133,657	負債の部合計	1,151,499,526	1,304,997,360	-153,497,834
前払金	3,818,881	3,661,520	157,361				
仮払金	0	0	0				
固定資産	1,738,386,049	1,220,571,229	517,814,820				
基本財産	10,000,000	10,000,000	0				
基本財産特定預金	10,000,000	10,000,000	0				
その他の固定資産	1,728,386,049	1,210,571,229	517,814,820				
建物	130,521,463	61,335,843	69,185,620	基本金	10,000,000	10,000,000	0
構築物	4,273,004	4,154,558	118,446	基本金	10,000,000	10,000,000	0
機械及び装置	10,445,717	12,619,186	-2,173,469	国庫補助金等特別積立金	42,360,625	10,230,677	32,129,948
車両運搬具	21,314,770	18,812,029	2,502,741	国庫補助金等特別積立金	42,360,625	10,230,677	32,129,948
器具及び備品	83,865,627	61,651,364	22,214,263	その他の積立金	709,469,335	345,543,000	363,926,335
権利	1,834,122	2,160,140	-326,018	工賃変動積立金	0	1,639,000	-1,639,000
ソフトウェア	1,834,122	2,160,140	-326,018	職員宿舍修繕積立金	30,633,000	30,633,000	0
投資有価証券	40,000,000	40,000,000	0	運営費積立金	126,042,000	120,271,000	5,771,000
工賃変動積立預金	0	1,639,000	-1,639,000	人件費積立金	286,000,000	0	286,000,000
職員宿舍修繕積立預金	30,633,000	30,633,000	0	給付金積立金	150,000,000	68,000,000	82,000,000
運営費積立預金	126,042,000	120,271,000	5,771,000	給付金積立金	116,794,335	125,000,000	-8,205,665
退職給与引当金積立預金	192,800,000	128,462,000	64,338,000	次期繰越活動収支差額	1,063,531,259	1,108,923,618	-45,392,359
人件費積立預金	150,000,000	68,000,000	82,000,000	次期繰越活動収支差額	1,063,531,259	1,108,923,618	-45,392,359
給付金積立預金	116,794,335	125,000,000	-8,205,665	(うち当期活動収支差額)	318,533,976	308,455,137	10,078,839
その他の固定資産	533,862,011	535,833,109	-1,971,098	純資産の部合計	1,825,361,219	1,474,697,295	350,663,924
敷金	4,160,500	3,968,000	192,500	負債及び純資産の部合計	2,976,860,745	2,779,694,655	197,166,090
県社協退職共済預け金	140,006,700	121,711,900	18,294,800				
全事協退職年金共済預け金	389,694,811	410,153,209	-20,458,398				
資産の部合計	2,976,860,745	2,779,694,655	197,166,090				

脚注
 1 減価償却累計額 130,448,969円
 2 徴収不能引当金の額 0円
 注記 1 会計基準/社会福祉法人会計基準を適用
 2 減価償却の方法/定額法
 3 退職給与引当金/平成24年3月31日現在において在職職員全員が退職したとした場合の退職金所要額のうち法人負担額等
 4 全事協退職年金共済引当金/社会福祉法人全国社会福祉事業団協議会の年金共済事業に係る法人負担額
 5 消費税の算出/本則課税を適用

財産目録

法人名 岩手県社会福祉事業団

事業グループ [全体合計 (療育センター含む)]

平成24年3月31日現在

第6号様式
(単位:円)

資産・負債の内訳		金額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	子どもの森 つり銭 他	638,487
当座預金	岩手銀行県庁支店 他	421,393,006
小口現金	法人本部 小口現金 他	592,486
定期預金		0
普通預金	岩手銀行青山町支店 他	140,178,811
商品・製品	コーヒー豆 他	46,600
原材料	コーヒー生豆 他	1,954,490
医薬品等	薬品 他	1,185,215
未収金	2月、3月分自立支援等給付費 他	594,130,589
医薬未収金	2月、3月分診療報酬 他	74,386,619
立替金	職員宿舍し尿浄化槽管理委託料	149,512
前払金	平成24年度施設賠償責任保険料 他	3,818,881
流動資産合計		1,238,474,696
2. 固定資産		
(1)基本財産		
基本財産特定預金		10,000,000
基本財産合計	岩手銀行県庁支店 定期預金	10,000,000
(2)その他の固定資産		
建物	旧岩手県社会福祉研修所用途変更 他	130,521,463
構築物	車庫 他	4,273,004
機械及び装置	火災通報装置 他	10,445,717
車両運搬具	自動車 他	21,314,770
器具及び備品	防音型インバーター発電機 他	83,865,627
ソフトウェア	パソコンシステム	1,834,122
投資有価証券	大和ネクスト銀行 定期預金	40,000,000
工賃変動積立預金		0
職員宿舍修繕積立預金	大和ネクスト銀行 定期預金	30,633,000
運営費積立預金	大和ネクスト銀行 定期預金 他	126,042,000
療育センター運営費積立預金	岩手銀行県庁支店 定期預金	286,000,000
退職給与引当金積立預金	大和ネクスト銀行 定期預金 他	192,800,000
人件費積立預金	野村證券(利付国債)	150,000,000
給付金積立預金	大和証券(中期国債) 他	116,794,335
その他の固定資産		533,862,011
敷金	地域支援かんばす敷金 他	4,160,500
県社協退職共済預け金	岩手県社会福祉協議会	140,006,700
全事協退職年金共済預け金	全国社会福祉事業団協議会	389,694,811
その他の固定資産合計		1,728,386,049
固定資産合計		1,738,386,049
資産合計		2,976,860,745
II 負債の部		
1. 流動負債		
買掛金	3月分医薬品 他	5,038,689
未払金	退職金 他	269,532,766
預り金	3月分住民税 他	15,273,407
流動負債合計		289,844,862
2. 固定負債		
退職給与引当金		430,226,853
事業団退職給与引当金	(退職金) 岩手県社会福祉事業団負担分	290,220,153
県社協退職給与引当金	(退職金) 岩手県社会福祉協議会負担分	140,006,700
全事協退職年金共済引当金	全国社会福祉事業団協議会	389,694,811
長期預り金	敷金(共同生活利用者負担分) 他	41,733,000
固定負債合計		861,654,664
負債合計		1,151,499,526
差引純資産		1,825,361,219

平成23年度岩手県社会福祉事業団 決算報告

資金収支計算書

(自) 平成23年4月1日 (至) 平成24年3月31日

第1号様式
(単位: 円)

勘定科目		予 算	決 算	差 異	
就労支援事業活動による収支	取入	44,284,000	44,340,380	56,380	
	就労支援事業収入	44,284,000	44,340,380	56,380	
	就労支援事業収入計(1)	44,284,000	44,340,380	56,380	
	支	45,293,000	44,711,041	581,959	
	就労支援事業支出	45,293,000	44,711,041	581,959	
	就労支援事業支出計(2)	45,293,000	44,711,041	581,959	
	就労支援事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-1,009,000	-370,661	638,339	
	会計単位間繰入金収入	348,060,000	348,815,030	755,030	
	経理区分間繰入金収入	96,379,000	98,185,677	1,806,677	
	措置費収入	811,035,000	811,067,761	32,761	
福祉事業活動による収支	私的契約利用料収入	4,957,000	4,958,445	1,445	
	介護保険収入	3,130,000	3,194,110	64,110	
	自立支援費収入	2,504,677,000	2,508,766,678	4,089,678	
	補助事業収入	118,645,000	116,524,592	-2,120,408	
	利用者負担金収入	1,440,000	1,460,000	20,000	
	その他の利用料収入	15,701,000	15,972,747	271,747	
	受託事業収入	414,720,000	406,191,969	-8,528,031	
	負担金収入	7,588,000	7,597,198	9,198	
	経常経費補助金収入	421,001,000	395,845,143	-25,155,857	
	寄附金収入	9,905,000	10,867,080	962,080	
支 出	雑収入	39,857,000	41,632,273	1,775,273	
	受取利息配当金収入	1,024,000	1,087,408	63,408	
	福祉事業収入計(4)	4,798,119,000	4,772,166,111	-25,952,889	
	会計単位間繰入金支出	80,909,000	78,722,880	-2,186,120	
	経理区分間繰入金支出	96,379,000	98,185,677	-1,806,677	
	人件費支出	2,747,507,000	2,715,099,429	-32,407,571	
	事務費支出	718,013,000	688,476,070	-29,536,930	
	事業費支出	676,010,000	645,581,113	-30,428,887	
	福祉事業支出計(5)	4,318,818,000	4,226,065,169	92,752,831	
	福祉事業活動資金収支差額(6)=(4)-(5)	479,301,000	546,100,942	66,799,942	
施設整備等による収支	取入	36,458,000	36,396,425	-61,575	
	施設整備等収入計(7)	36,458,000	36,396,425	-61,575	
	支 出	108,381,000	105,601,369	2,779,631	
	施設整備等支出計(8)	108,381,000	105,601,369	2,779,631	
	施設整備等資金収支差額(9)=(7)-(8)	-71,923,000	-69,204,944	2,718,056	
	財務活動による収支	取入	45,791,000	22,751,000	-23,040,000
		積立預金取崩収入	45,791,000	22,751,000	-23,040,000
		支 出	42,198,000	42,475,497	277,497
		その他の収入	42,198,000	42,475,497	277,497
		財務収入計(10)	87,989,000	65,226,497	-22,762,503
積立預金積立支出		451,014,000	451,015,335	-1,335	
支 出		40,147,000	39,833,360	313,640	
その他の支出		40,147,000	39,833,360	313,640	
財務支出計(11)		491,161,000	490,848,695	312,305	
財務活動資金収支差額(12)=(10)-(11)		-403,172,000	-425,622,198	-22,450,198	
前期末支払資金残高(13)	3,197,000	50,903,139	47,706,139		
当期資金収支差額合計(14)=(3)+(6)+(9)+(12)-(13)	814,098,000	814,096,751	-1,249		
前期末支払資金残高(15)	817,295,000	864,999,890	47,704,890		

損益計算書

(自) 平成23年4月1日 (至) 平成24年3月31日

(単位: 円)

科 目	金 額	
I 医療収益	291,868,682	
1 入院診療収益	139,224,834	
2 外来診療収益	5,065,709	
3 保健予防活動収益	8,012,751	
4 その他の医療収益	444,171,976	444,171,976
合計	0	
II 医療費用	79,715,938	
1 材料費	52,055,749	
(1) 医薬品費	13,847,555	
(2) 診療材料費	2,590,258	
(3) 医療消耗器具備品費	11,222,376	
(4) 給食用材料費	11,222,376	
2 給与	289,552,959	
(1) 給与	45,996,844	
(2) 賞与	8,257,299	
(3) 退職給付費用	68,367,899	
(4) 法定福利費	68,367,899	
3 委託費	633,999	
(1) 検査委託費	7,429,720	
(2) 給食委託費	2,075,220	
(3) 寝具委託費	3,906,420	
(4) 保守委託費	46,321,889	
(5) その他の委託費	46,321,889	
4 設備関係費	9,546,163	
(1) 減価償却費	8,748,228	
(2) 器機賃借料	456,770	
(3) 地代家賃	14,622,799	
(4) 修繕費	3,754,464	
(5) 器機保守料	1,837,847	
(6) 車両関係費	1,837,847	
5 研究研修費	464,260	
(1) 研究費	4,612,264	
(2) 研修費	4,612,264	
6 経費	1,555,547	
(1) 福利厚生費	2,508,184	
(2) 旅費交通費	1,004,943	
(3) 職員被服費	1,470,393	
(4) 通信費	163,800	
(5) 広告宣伝費	13,952,499	
(6) 消耗品費	5,129,651	
(7) 消耗器具備品費	3,120	
(8) 会議費	51,644,003	
(9) 水道光熱費	1,192,500	
(10) 保険料	50,000	
(11) 交際費	382,500	
(12) 諸会費	589,300	
(13) 租税公課	3,509,200	
(14) 雑費	3,509,200	
7 控除対象外消費税等負担額	0	
医療損失	235,294,646	679,466,622
III 医療外収益	62,980	
1 患者外給食収益	80,957,422	
2 自立支援支援費等収益	181,390,730	
3 受託事業収益	1,941,850	
4 その他の医療外収益	1,941,850	
IV 医療外費用	27,695	
1 患者外給食用材料費	27,695	
経常利益	29,030,641	
V 臨時収益	16,132,275	16,132,275
1 その他の臨時収益	16,132,275	
VI 臨時費用	282,500,000	
1 その他の臨時費用	282,500,000	
税引前当期純利益	237,337,084	
法人税、住民税及び事業税	0	
当期純損失	237,337,084	
前期繰越利益	349,866,313	
当期末処分利益	112,529,229	

事業活動収支計算書

(自) 平成23年4月1日 (至) 平成24年3月31日

第3号様式
(単位: 円)

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増 減
就労支援事業活動収支の部	取入	44,340,380	42,990,248	1,350,132
	就労支援事業収入	44,340,380	42,990,248	1,350,132
	就労支援事業収入計(1)	44,340,380	42,990,248	1,350,132
	支	45,293,000	44,711,041	581,959
	就労支援事業支出	45,293,000	44,711,041	581,959
	就労支援事業支出計(2)	45,293,000	44,711,041	581,959
	就労支援事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-1,009,000	-370,661	638,339
	措置費収入	811,067,761	773,117,116	37,950,645
	私的契約利用料収入	4,958,445	4,818,150	140,295
	介護保険収入	3,194,110	2,866,930	327,180
福祉事業活動収支の部	自立支援費収入	2,508,766,678	2,427,834,776	80,931,902
	補助事業収入	116,524,592	116,331,710	192,882
	利用料収入	1,460,000	65,000	1,395,000
	その他の利用料収入	15,972,747	16,515,817	-543,070
	受託事業収入	406,191,969	433,481,524	-27,289,555
	負担金収入	7,597,198	7,729,904	-132,706
	経常経費補助金収入	395,845,143	527,084,800	-131,239,657
	寄附金収入	10,867,080	2,373,561	8,493,519
	雑収入	41,632,273	39,550,340	2,081,933
	引当金戻入	99,458,998	99,928,458	-469,460
事業活動外収支の部	国庫補助金等特別積立金取崩額	1,271,352	1,271,352	0
	福祉事業活動収入計(4)	4,424,808,346	4,451,698,086	-26,889,740
	人件費支出	2,715,099,429	2,858,106,100	-143,006,671
	事務費支出	692,537,101	640,130,579	52,406,522
	事業費支出	645,581,113	623,680,383	21,900,730
	減価償却費	29,320,614	20,924,617	8,395,997
	引当金繰入	59,590,680	123,613,602	-64,022,922
	福祉事業活動支出計(5)	4,142,128,937	4,266,455,281	-124,326,344
	福祉事業活動収支差額(6)=(4)-(5)	282,679,409	185,242,805	97,436,604
	受取利息配当金収入	1,087,408	1,009,139	78,269
事業活動外収支の部	取入	348,815,030	11,561	348,803,469
	会計単位間繰入金収入	101,961,949	79,259,990	22,701,959
	経理区分間繰入金収入	451,864,387	80,280,690	371,583,697
	事業活動外収入計(7)	451,864,387	80,280,690	371,583,697
	支 出	78,722,880	11,561	78,711,319
	会計単位間繰入金支出	101,961,949	79,259,990	22,701,959
	経理区分間繰入金支出	101,961,949	79,259,990	22,701,959
	事業活動外支出計(8)	180,684,829	79,271,551	101,413,278
	事業活動外収支差額(9)=(7)-(8)	271,179,558	1,009,139	270,170,419
	経常収支差額(10)=(3)+(6)+(9)	553,159,726	185,797,604	367,362,122
特別収支の部	取入	36,396,425	10,987,300	25,409,125
	国庫補助金等特別積立金取崩額	63,623	63,623	0
	特別収入計(11)	36,396,425	11,050,923	25,345,502
	国庫補助金等特別積立金積立額	33,401,300	10,294,300	23,107,000
	固定資産売却損・処分損(売却原価)	283,791	984,712	-700,921
	特別支出計(12)	33,685,091	11,279,012	22,406,079
	特別収支差額(13)=(11)-(12)	2,711,334	-228,089	2,939,423
	当期活動収支差額(14)=(10)+(13)	555,871,060	185,569,515	370,301,545
	前期繰越活動収支差額(15)	759,057,305	635,534,790	123,522,515
	当期末繰越活動収支差額(16)=(14)+(15)	1,314,928,365	821,104,305	493,824,060
繰越活動収支差額の部	基本金取崩額(17)			
	基本金組入額(18)			
	その他の積立金取崩額(19)	22,751,000	5,953,000	16,798,000
	その他の積立金積立額(20)	386,677,335	68,000,000	318,677,335
	次期繰越活動収支差額(21)=(16)+(17)-(18)+(19)-(20)	951,002,030	759,057,305	191,944,725

平成24年度

新採用職員紹介



たばしね学園
児童指導員

木村 早織
〈平成24年4月1日付採用〉

みたけ学園
児童指導補助員

赤澤 美貴
〈平成24年4月1日付採用〉

みたけ学園
児童指導員

千葉 肇人
〈平成24年4月1日付採用〉

みたけ学園
児童指導員

田中 康貴
〈平成24年4月1日付採用〉

松山荘
生活指導員

山影 幸志
〈平成24年4月1日付採用〉

好地荘
生活指導員

久保田 咲未
〈平成24年4月1日付採用〉

やまゆり
生活支援員

駒木 怜
〈平成24年4月1日付採用〉

やまゆり
生活支援委員

佐藤 隆秀
〈平成24年4月1日付採用〉

やまゆり
生活支援員

藤原 敏明
〈平成24年4月1日付採用〉

りんどう
生活支援員

佐藤 遥
〈平成24年4月1日付採用〉

かたくり
生活支援員

野嶋 斗志香
〈平成24年4月1日付採用〉

かたくり
生活支援員

藤井 佐和子
〈平成24年4月1日付採用〉

やさわの園
生活支援員

尾形 渉
〈平成24年4月1日付採用〉

やさわの園
生活支援員

岩淵 春那
〈平成24年4月1日付採用〉

療育センター
薬剤師

本多 麻希子
〈平成24年4月1日付採用〉

療育センター
相談支援員兼理学療法士

中村 久江
〈平成24年4月1日付採用〉

療育センター
看護師

関川 育恵
〈平成24年4月1日付採用〉

療育センター
看護師

伊藤 由貴子
〈平成24年4月1日付採用〉

療育センター
看護師

及川 佳子
〈平成24年4月1日付採用〉

療育センター
保育士

米澤 剛
〈平成24年4月1日付採用〉

視聴覚障がい者
情報センター
情報支援員

高橋 睦子
〈平成24年4月1日付採用〉

視聴覚障がい者
情報センター
情報支援員

赤坂 佳子
〈平成24年4月1日付採用〉

療育センター
看護師

三浦 美子
〈平成24年5月1日付採用〉

療育センター
准看護師

大石 七美
〈平成24年6月1日付採用〉